

「がん患者は働かなければいい」？！

## 治療前と変わらない毎日を望む女性のために 医療用ウィッグ（かつら）で乳がん患者の社会復帰をサポート

抗がん剤治療や脱毛症により髪を失った女性のための医療用ウィッグ専門店『ワンステップ』を運営する株式会社グローウイング(大阪市北区)は、本物の髪に近いクオリティで肌に優しい医療用ウィッグを販売しています。乳がんに罹患しても働きながら治療を続ける多くの女性の為に、医療用ウィッグで社会復帰の手助けを行います。脱毛による精神的・身体的ストレスに悩まされず、日常生活を快適に過ごすことができる当社の医療用ウィッグを通して、業界全体の品質向上に働きかけて参ります。

### 【医療用ウィッグの現状】

当社が設立した 2008 年頃、まだ「医療用ウィッグ」という言葉も商品も世間にはあまり知られていませんでした。しかしここ数年、がん罹患患者数が増えたことで医療用ウィッグの需要は高まり、それに伴い、医療用ウィッグを販売する会社も増加しています。コスト削減の為、実店舗を持たずにインターネットのみで販売を行う会社もあります。現在「医療用ウィッグ」に明確な基準が無いことにより、「医療用」と称して安価なファッションウィッグと変わらない品質の製品も多く販売されている状況です。

抗がん剤治療の副作用により脱毛した頭皮は敏感な為、少しの刺激でさえも肌への負担は大きくなります。一般的なウィッグの場合、頭皮に当たるウィッグの内側にナイロンなどの化学繊維で出来た生地を使用している為、長時間着用すると肌が荒れて使用できず、その結果外出を拒むようになる人もいます。また、髪質やつむじ部分の見た目の不自然さにより、周りの視線が気になるなど、精神的にもダメージを受ける人も多いです。その為、医療用ウィッグには身体的・精神的苦痛に配慮した品質のものが求められています。義足や義手のように本物の髪に近い作りがされており、脱毛による精神的なストレスの軽減や社会復帰を手助けする役割があります。

### 乳がん患者向け“外見ケア”製品 他にも 人工乳房・乳がん患者用下着など

当社が 2014 年 9 月に発売した医療用ウィッグ「witton(ウィットン)」は、頭皮に当たるウィッグの内側にオーガニックコットンの生地を使用しています。また、一度もカラーやパーマをしたことがない高級人毛を100%使用し、つむじや生え際の完成度にこだわったことから、近くで見ても本物と区別がつかないほど自然です。

同じように、乳がん患者の社会復帰を支援する外見ケア製品として、人工乳房や乳がん患者用の下着などがあります。快適に使用でき、周りの視線を気にせず生活できるような工夫がされている点は共通しています。



▲witton のつむじ部分

日本人女性の11人に1人が乳がんに罹患する時代で、年齢も30代から40代の若い女性の罹患率が高いです。働きながら治療を続ける女性の為に、身体的・精神的ストレスに悩まされず、脱毛前と変わらぬ生活を送ることができるよう『医療用ウィッグ』をはじめ、外見ケア製品の品質・役割について理解のある社会を目指して参ります。

### ◀本件に関するお問い合わせ先▶

株式会社グローウイング 広報  
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 3-3-45 マルイト西梅田ビル 2F  
TEL:06-6225-7177 / FAX:06-6225-7714

10月19日は

「医療用ウィッグの日」



ワンステップ

で 検索

<http://www.glowing.jp>